



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1
電話：03-3541-5151 内線 88489
担当者の所属・氏名 渡部 雅崇

【研究責任者】

聖路加国際病院 臨床研修部 渡部 雅崇

【指導医】

聖路加国際病院 消化器外科 鈴木 研裕

当院で胆嚢摘出術を施行された方を対象とした開腹術への 移行リスクに関する研究

1.研究の対象

有症状胆石症もしくは急性胆嚢炎と診断された方で2016年4月から2022年6月までに当院で胆嚢摘出術を受けられた方

2.研究の目的・方法

現在日本では腹腔鏡を用いての胆嚢摘出術が主流ですが、腹腔鏡下で手術をした場合も安全に胆嚢を切除することが困難と判断された場合は開腹へと移行することがあります。その場合困難な状況での腹腔鏡での操作により合併症の増加や手術時間の延長が懸念されます。今回、腹腔鏡下での胆嚢摘出術において手術開始早期の段階で開腹移行が必要かを評価するスコアを作成することで、腹腔鏡操作による合併症や手術の短縮化を図ることを目的としております。なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2023年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 病歴、性別、年齢、身長、体重、合併症、既往歴、発症日、手術日、喫煙歴、血液検査結果、手術動画、身体所見、画像検査結果、身体所見、術式、退院日、カルテ番号 等

《試料》 なし